

教育センター学びの丘研修員における学びについて

和歌山市立雑賀小学校

教諭 細田 和希

和歌山県教育センター学びの丘における研修員としての研究と修養を通して、教育に関する専門的・技術的な事柄における理解を深め、教師としての資質・能力の向上を目指し研鑽に努めた。その1年間の学びについて述べる。

修養では、様々な研修講座や研修員研修等の受講を通して、校種や教科の枠に捉われず知見を広げるとともに、教員としての専門性を高めることができた。また、所属校での現職教育や学校運営等において、自身がミドルリーダーとして果たすべき役割や、その重要性について、改めて自覚することができた。

研究では、これまでの自分自身の授業実践を省察し、こどもが自ら学び進める「自立した学習者」として主体的に学ぶ姿を目指し、個の探究的な学びを主とした社会科の授業を構想した。こども一人一人の学びが充実することで、協働的な学びはより効果的なものとなり、また、その学習過程を見つめ直すことで、こどもたちは自身の成長や変容を実感することができる。このような経験を繰り返し積み上げていくことを通して、こどもは少しずつ「自立した学習者」へと近づいていくことを実感した。

今後は、研究で明らかになった成果や課題を基に実践を重ね、こども一人一人の学びがより充実するように、自身の研究を深めていくとともに、この1年間の学びを、広く所属校や地域に還元できるよう努めたい。